

# 第52回 東海・北陸地区連合小学校長会教育研究愛知大会報告

大野市小山小学校  
校長 前田 満里子

- 1 期日 平成29年10月5日～10月6日
- 2 会場 名古屋国際会議場  
愛知県産業労働センター（ウインク愛知）
- 3 大会主題および副主題  
主題：新たな知を拓き人間性豊かな社会を築く日本人の育成を目指す小学校教育の推進  
副主題：生きる力の確かな育成のための方策とそれを実現する教職員のはたらきへの支援型リーダーシップの在り方

## 4 第1日目の概要

○開会式

○全体会：大会宣言文決議

：大会趣旨説明

支援型リーダーシップの定義について

- ・大儀あるミッション、ビジョンを示す。
- ・教職員との信頼関係を構築し、支援（気持ちを束ねたり、力を引き出したり）する。

○記念講演

「世界をリードする新製品を開発するための

『人づくり』と『場づくり』

講師 アイシン・エイ・ダブリュ（株）

取締役社長 尾崎 和久氏

オートマチックトランスミッションでは世界一、カーナビでは世界2位の売り上げ、従業員は3万人という大きな会社である。尾崎氏は、働く人たち自身が今どう考えているのかをいつも心においてこられたそうである。外部機関による働き方調査を取り入れ新しい働き方を模索したり、新製品を開発するために研究の場を集約しどこでも意思決定・判断ができるようにしたことなど、常にピンチをチャンスに変え積極的に挑戦してこられたことを、熱く語られた。

○閉会式：次期開催県あいさつ

## 5 第2日目の概要

分科会（13分科会、特別分科会）

第3分科会「評価・改善」の概要

\*三重県熊野市…市内の小学校の学校評価を互いに比較・点検し合い学校評価実施要項を作成するなどして評価の信頼性を高めた。市内小学校長会で統一した要望を教育委員会に提示できた。

\*静岡県沼津市…教職員人事評価を工夫し職業能力の向上につなげた。エピソードシートや「マネジメント力構成要素表」などで、より客観的に評価することに努めた。論理的に評価を伝えるとともに、シートに表れてこない教職員のよさを認めることも大切である。

\*愛知県豊橋市…学校評価の工夫とともに教職員個々のアイデアを日常的教育活動に生かすシステムづくりとして学校運営機構の見直しを行った。教職員の力を結集するための組織編成は校長の役割である。

福井県からは第13分科会にて取り組みを発表した。

\*発表題：地域と連携した創意ある教育活動の推進  
越前市北日野小学校 品川 満 校長

- ・越前市校長会では、17小学校それぞれが地域の特性を生かした創意ある教育活動に取り組み、地域に誇りや愛着をもつ児童の育成と、それを支える教職員への支援のあり方について追及した。
- ・校長会における情報交換により、校長のコーディネート力を高めることができた。また、校長自らが地域を歩き感じたことを教職員に示唆することにより、地域の特性を生かした創意ある教育活動の構想に繋げることができた。

〈所感〉記念講演からは、働き方や意見の集約など学校現場でも視点を変えて取り入れていけることが多くあると感じた。また、分科会では他県のような情報を得ることができた。有意義な2日間であった。